

📌 制度の概要

物価高や人手不足等の影響を受ける中小企業者に対し、**金融機関のプロパー融資と保証付き融資を組み合わせる**ことで、金融仲介機能の強化を図る保証制度です。人手不足対応の省力化投資による経営安定や事業発展など、多岐にわたる経営課題解決への取組を後押しします。

2028年3月末までの**3年間限定の時限措置**として実施され、通常の保証制度よりも手厚い支援が受けられる点が特徴です。保証料の国庫補助により、中小企業の実質負担を軽減する仕組みも整備されています。

🔗 支援内容

☐ プロパー融資併用型

プロパー融資1割以上同時実行

最大2.8億円

保証料率：0.45～1.90%

☐ 経営行動計画策定型

金融機関支援による計画策定・実行

最大2.8億円

保証料率：0.45～1.90%

🎯 対象となる取組

【運転資金】

- ☐ 原材料価格高騰への対応資金
- ☐ 人手不足対応のための資金調達
- ☐ 物価上昇に伴う経営安定資金

【設備資金】

- ☐ 省力化投資のための設備導入
- ☐ 生産性向上に向けた機械設備
- ☐ デジタル化推進のためのシステム

※据置期間は運転資金1年・設備資金3年以内

👥 対象者

- ☐ **プロパー融資併用**：保証付き融資の1割以上
- ☐ **経営行動計画策定**：金融機関支援必須
- ☐ 物価高・人手不足の影響を受けた中小企業
- ☐ 信用保証協会の一般的な保証要件を満たす

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **金融機関との事前相談**：プロパー融資併用の可能性を確認
- ☐ **経営課題の明確化**：物価高・人手不足の具体的影響を整理
- ☐ **投資効果の定量化**：省力化投資による効果測定
- ☐ **返済計画の妥当性**：キャッシュフロー改善見込み

📊 戦略的分析

【金融機関との協調メリット】

- ☐ **リスク分散効果**により金利条件改善
- ☐ 継続的な**経営支援体制**の確保
- ☐ 将来的な追加資金調達の円滑化

【保証料補助の戦略的活用】

- ☐ **早期申込**で最大1/2補助の活用
- ☐ 3年間の段階的補助率変更への対応
- ☐ 実質負担軽減による**投資余力**創出

📈 保証料補助率の推移



補助率変動（2025-2028年）：段階的に減少するため早期活用が有利
実質負担軽減効果：最大で保証料の50%が国庫補助

💡 活用分野と効果

投資分野	期待される効果
省力化設備	人手不足解消・生産性20%向上
デジタル化	業務効率化・コスト削減15%
原材料調達	価格変動リスク軽減・安定供給
運転資金	キャッシュフロー改善・経営安定

👤 専門家活用のススメ

- ☐ **金融コンサル**：プロパー融資交渉の戦略策定支援
- ☐ **経営計画策定**：効果的な行動計画作成サポート
- ☐ **投資効果分析**：省力化投資の定量評価支援
- ☐ **税務最適化**：設備投資税制との併用検討

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/28作成】

提出書類	チェックポイント
信用保証委託申込書	☐ 要件該当 プロパー併用か計画策定 ☐ 保証料補助対象期間の確認
経営行動計画書	☐ 金融機関との 協議内容 記載 ☐ 定量的な改善目標設定
財務資料一式	☐ 直近3期分の決算書類 ☐ 試算表・資金繰り表
設備投資計画書	☐ 省力化効果の 具体的説明 ☐ 見積書・仕様書の添付

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
金融機関との協議に1～2ヶ月。プロパー融資条件や経営行動計画の策定調整が必要。信用保証協会への事前相談も推奨。
- 申込期間**
随時受付～2028年3月31日
各信用保証協会窓口または金融機関経由での申込み。
早期申込みほど保証料補助率が有利。
- 審査期間**
2～4週間程度（案件複雑度により変動）
- 保証決定通知**
審査完了後、保証協会より書面通知
- 融資実行**
保証決定後、金融機関より融資実行。
プロパー融資との同時実行が原則

⚠️ 補足事項

- ☐ 保証期間は一括返済1年以内、分割返済10年以内
- ☐ 経営行動計画策定型は保証料補助1/4相当固定

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/2025/250314.html
申込窓口	各都道府県信用保証協会 ※お住まいの地域の信用保証協会へ
お問い合わせ	中小企業庁事業環境部 金融課 担当者：荒井、平野、渋谷 TEL：03-3501-1511（内線5271）